

調和体を書く (19)

締切り 七月二十五日 (必着)

回作品の出し方

▼硬筆部 B5判 (二五七mm×一八二mm) 以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)

▼毛筆部 半紙に書いて下さい。(筆ペン可)

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。

▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。

▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

奥村憲照先生書

茶の湯は誠を以て
はやへば素直に
ゆたかなり

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書道の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の^{しんわよう}新和様のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいりましょう。

〔読み〕

茶の湯は誠^{まこと}を以てはからへば
素直にしてゆたかなり

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

※印のない方は赤ペンで□を書き入れて下さい。

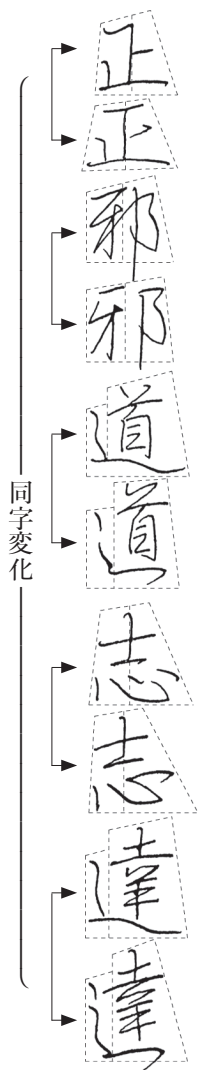
一般部規定課題

締切り 7月25日(必着)

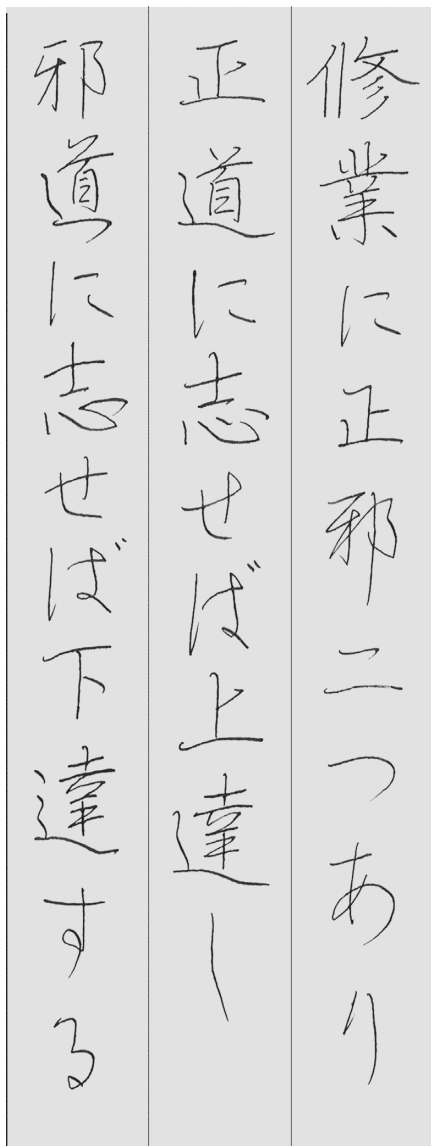
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



◎教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。
◎今月は行書。行書は字形のふところ広く、ペン運びを軽く。同字が多いので、変化に留意して練習して下さい。

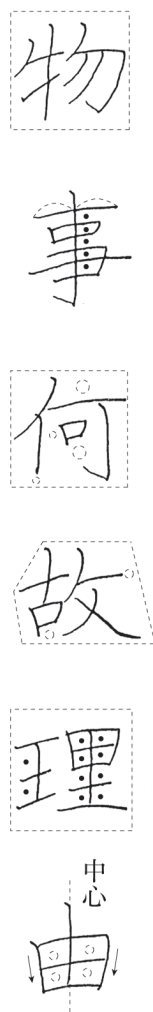


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



原	如	物
因	何	事
と	に	は
理	し	何
由	て	故
が	と	
あ	い	
る	う	

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行書

◆8月課題予告（行草又は草書）
福は微なるより生じ
禍は忽にするより生ず
説苑

★修業に：（書体＝行書）
本因坊丈和（二天七六八世）
江戸時代の棋士
早く昇段しよう、早くあいつを負かせたい。こうした欲心を強くすることは邪道であると言っています。
欲心少なく正道であるために「早打ちと手筋を心掛けよ」と教え、早く打てば欲心が出る隙がなく、欲心が出なければ、手筋もよくなるであろうと。

◆8月課題予告（行書）
人道は
盈を惡みて
謙を好む

★物事は：（書体＝楷書）
シェークスピア（一五四〇～一六一六）
イギリスの劇作家・詩人
仕事の成功、不成功には全て原因と理由があります。成功と不成功の原因と理由を客観的に分析し、同じ過ちを繰り返さないようにしたいものです。
また我々の最も大きな弱点は、諦めることにあり、成功するためには常に挑戦し続けることも大切でしょう。

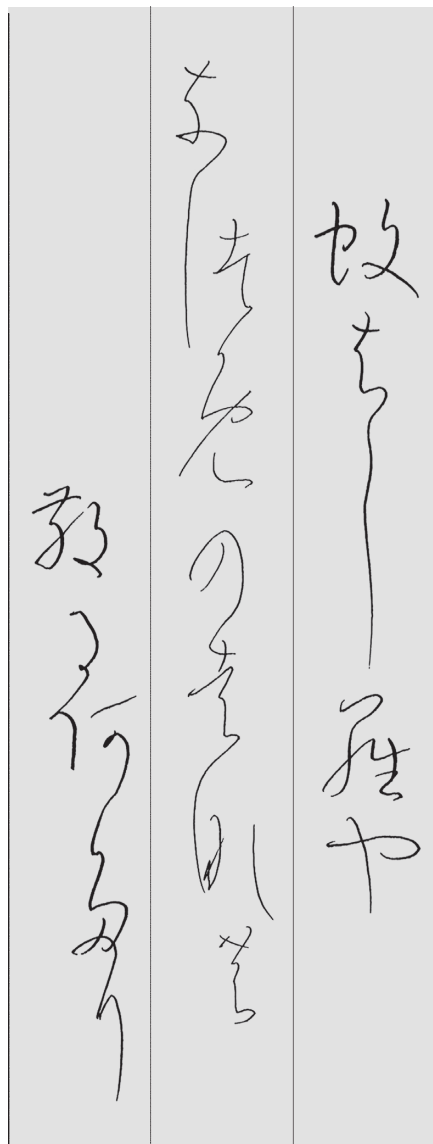
一般部かな課題

締切り 7月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

蚊者ば羅しら奈徒免や者那農棗阿多の花の散るあたり



蚊ばしらや棗の花の散るあたり

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。



た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

た なか き こう
田 中 貴 光 書

▷用具=自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

蚊かばしらや棗なつめの花の散るあたり

（加藤 暁台）
かとうきょうたい

〔句解〕静かな夏の夕べ、あたりがすこし薄暗くなってくると、黄色い葉の花の散りこぼれているのが目につく。気がつくとそのかたわらに蚊柱が立っていて、だんだん夜の闇が迫ってくる。

〔鑑賞〕蚊柱と棗の花を取り合わせた句だが、夕方であるとも、静かであるともいわずに、夏の夕方の穏やかな感じをよく表現している。へ散るあたなり〕によって情景が立体的になり、動きが与えられる。さらに、初夏の夕暮れの、暮れようとした時の流れも感じられてくる

〔古筆参考〕

阿あ　農の　能の　羅ら　者は

阿　河　阿　阿　阿　阿
者　能　能　能　能　能
若　若　若　若　若　若

〔解説〕「し」と「や」の中心を通して書く。「し」や「し」の一画目を、連綿の線に流されないように、意識して書く。

◆8月課題予告

子規なくや夜明の海がなる

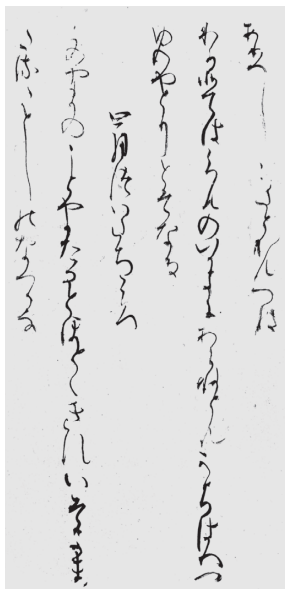
（加^か舎^や白^{しら}雄^お）

締切り 七月二十五日（必着）

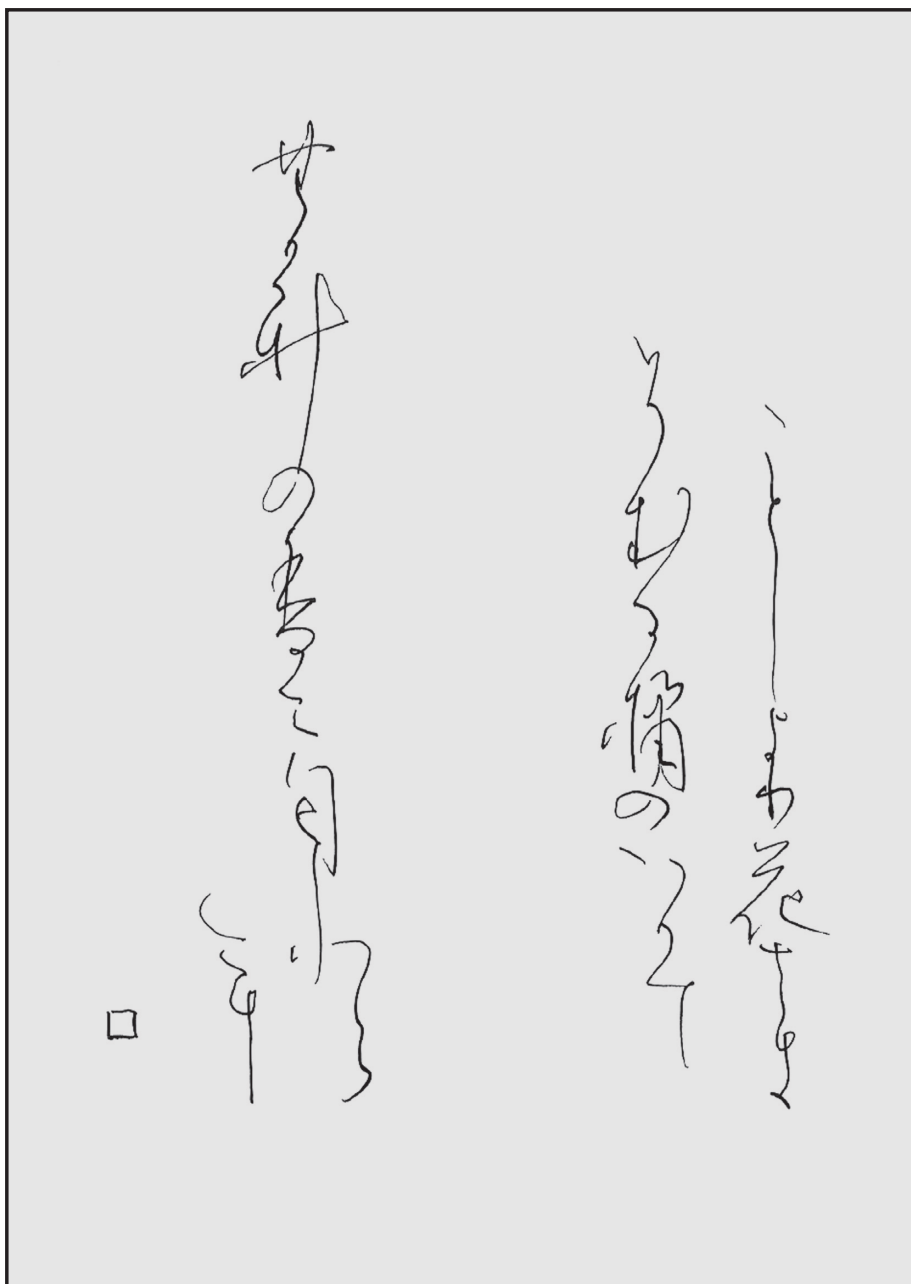
築瀬舟香書

〔古筆参考〕

和泉式部続集切



ありへしかたとおんへば
わがそではんのいかにあらねどんうちはへつ
ゆのやどりとぞなる
四月ついたちころ
かのやまのことやかたるとほととぎすいそぎま
たるゝとしのなつか



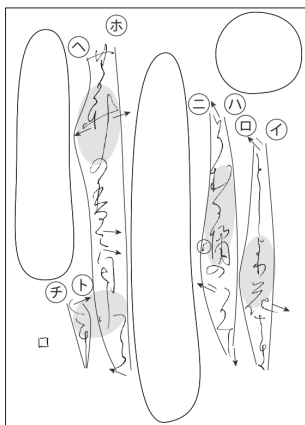
ことしより花咲きそむるたちはなの
いかで昔の香ににほふらむ

〔歌意〕 不思議なこともあるものだ
な。今年初めて咲き出した花橘がどう
して昔を思い起こさせるように薫るの
であらうか。

〔出典〕 新古今和歌集

（新潮日本古典集成）

〔解説〕



①と②、①と③、①と④、①と⑤、
①と⑥、①と⑦、①と⑧、①と⑨、
それぞれ呼応。

● 密の動き大切。

○ 余白を大切に。

↓ の方向大切。

◆ 8月課題予告

庭の面は月もらぬまでなりにけり
こずゑに夏の陰茂りつつ

締切り 7月25日(必着)

自由課題

- ◆ 今月は、文章も自由といたします。
- ◆ 皆さんのアイデアを生かして自由に創作して下さい。
- ◆ バラエティに富んだ、個性豊かな暑中見舞い状をお待ちしています。

暑中お見舞い申し上げます
皆様お変わりなくお過ごしですか。本日お手製の梅干し一樽^{ひとたる}をお送りいたしました。暑さはこれからが本番です。くれぐれもご自愛の程お祈りいたしております。

暑中お見舞い申し上げます
皆様お変わりなくお過ごしですか。
本日お手製の梅干し一樽をお送り
いたしました。暑々は、わたくしが
本番です。くれぐれもご自愛の程
お祈りいたします。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横書き課題

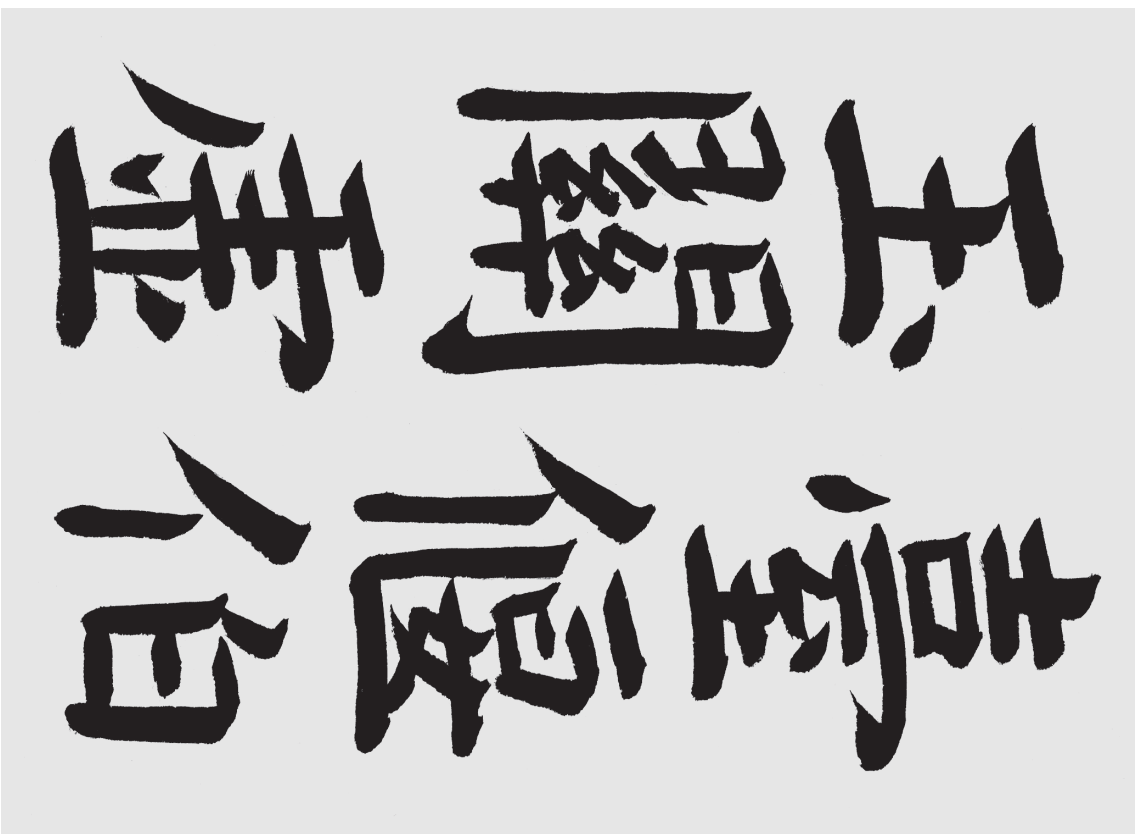
「変身」の著者カフカは、実存主義
文学の分野から注目を集めた。

福岡県筑後市 氏 名

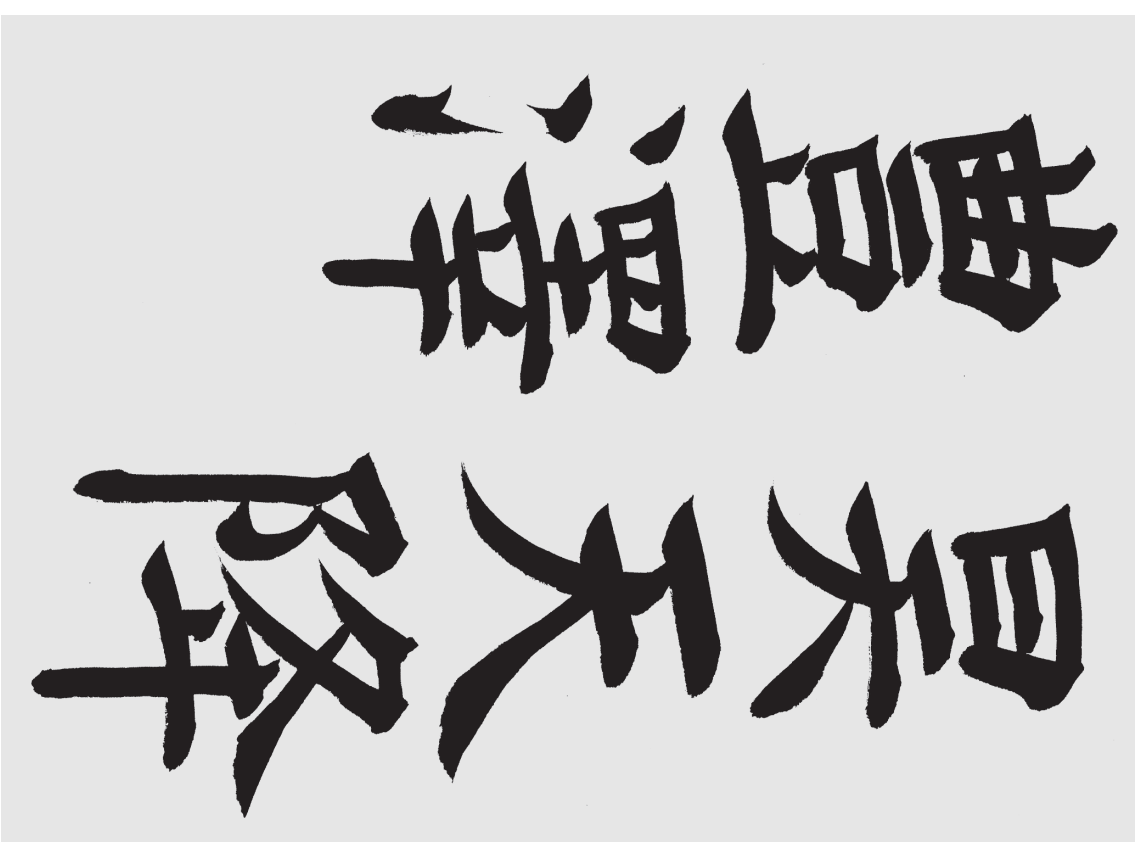
※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

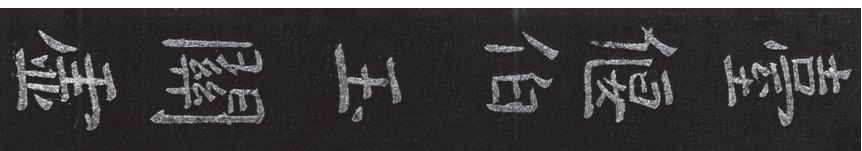
締切り 7月25日(必着)



〔出典〕 孔子廟堂碑（626～633） 〔筆者〕 虞世南（558～638）
 〔読み〕 (王) 台は伯を偁め、玉閼は（候を）虚しくし、



〔読み〕 昊天豊沢を降らす
 〔大意〕 天より豊かな恵みを降らす。 ※昊天（夏の広い空）



臺 偁 伯 玉 閼 虚

準初段から師範まで

奥村暢之 臨

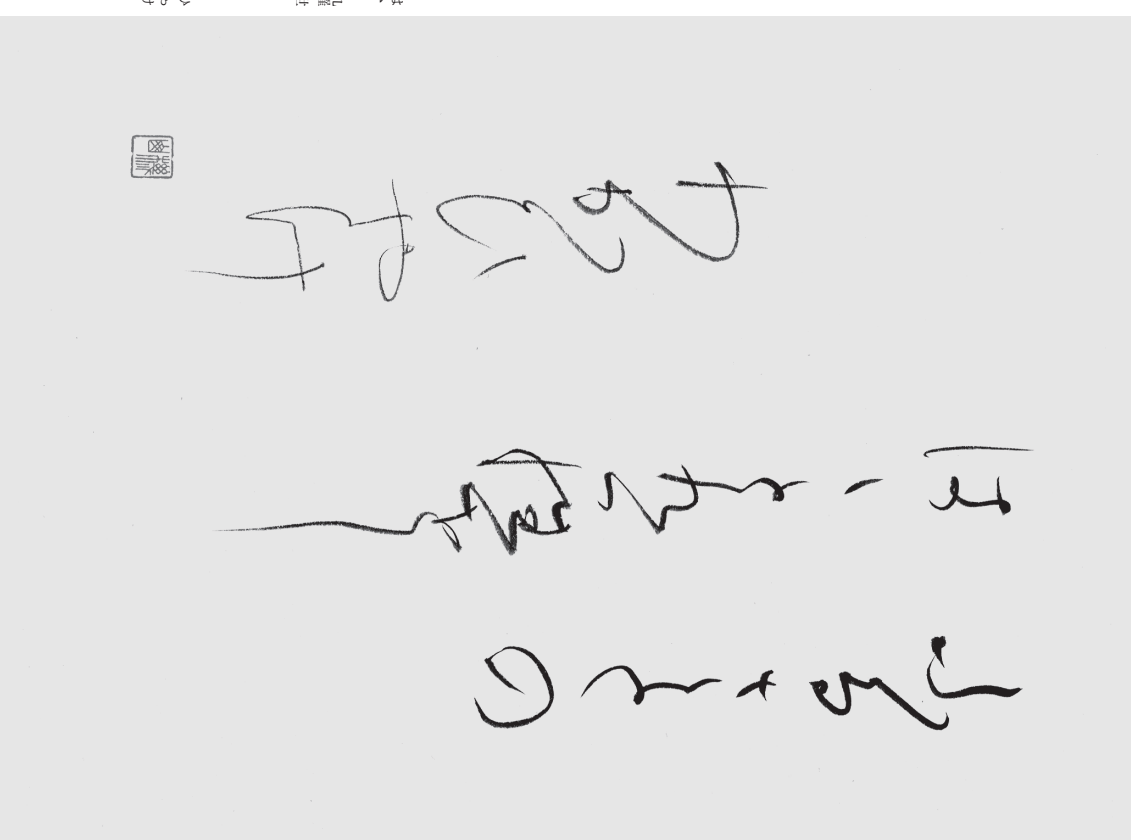
新入から1級まで（楷書）

須田一葉 書

一般部毛筆かな課題

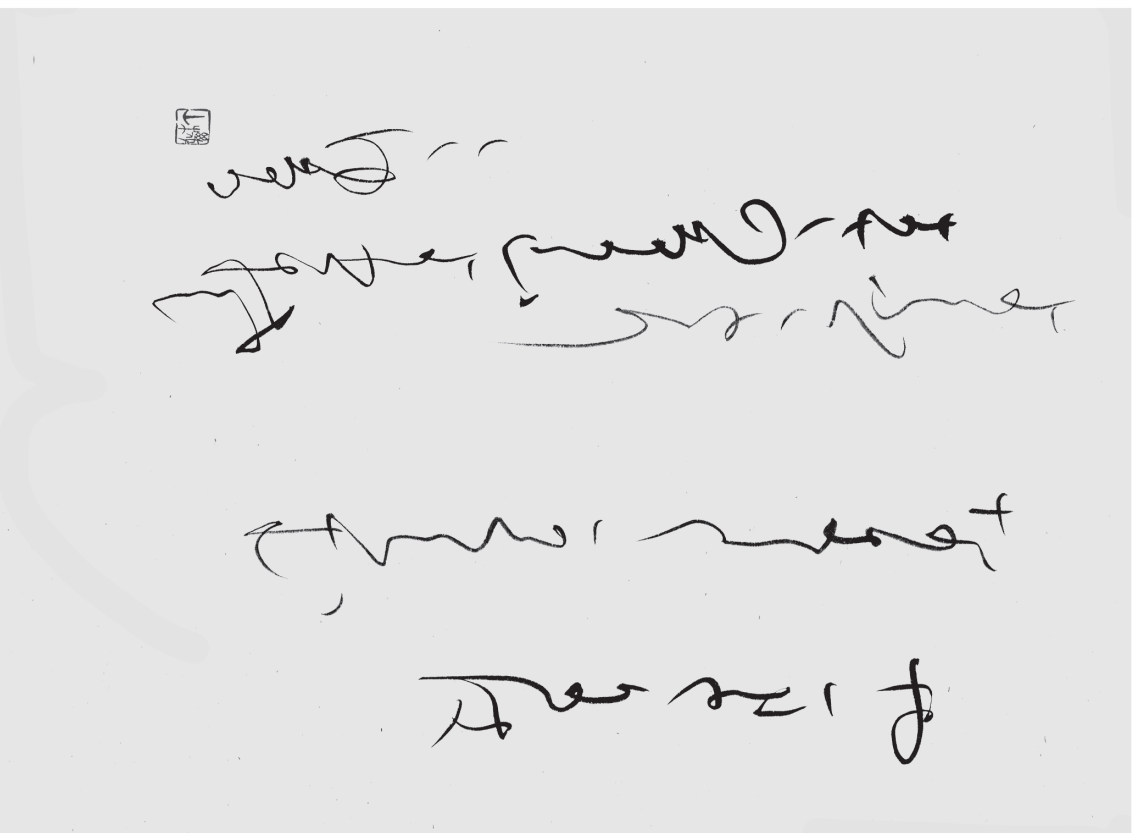
締切り 7月25日(必着)

新入から1級まで



浅井機山先生書

準初段から師範まで



■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

ふととの母と暮せしわが日焼け

大倭には鳴きてか来らむ呼子鳥
や万と尔 なる
象の中山呼びぞ越ゆなる
き 奈 奈 奈

〔出典〕 高市黒人

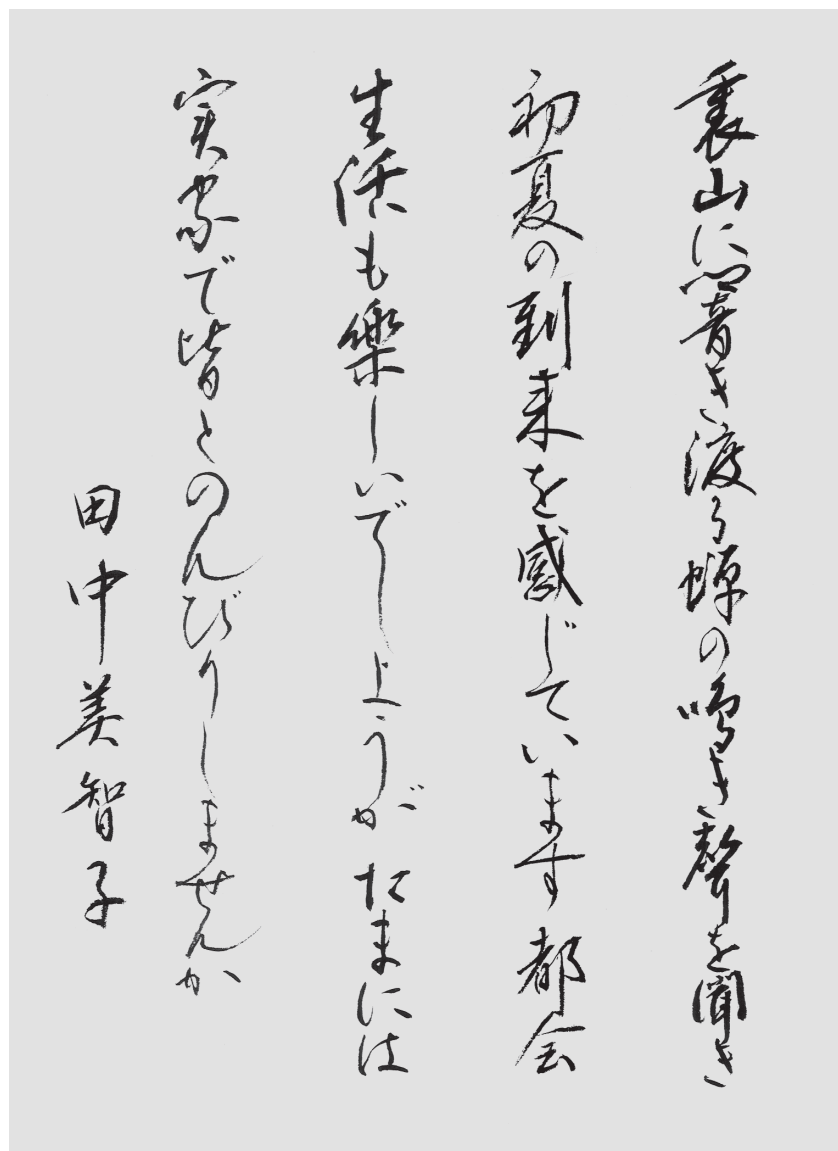
〔歌意〕 大和には鳴いて行つたらうか。呼子鳥がいま象の中山を、人の呼ぶようなあゝの聲で泣きながら越えていくのが聞こえる。

〔出典〕 今井千鶴子

〔句意〕 母と暮らしている間にすっかり日焼けして黒くなった。子供に返ったようなくつろいだ気分と、健康さの表れた句。

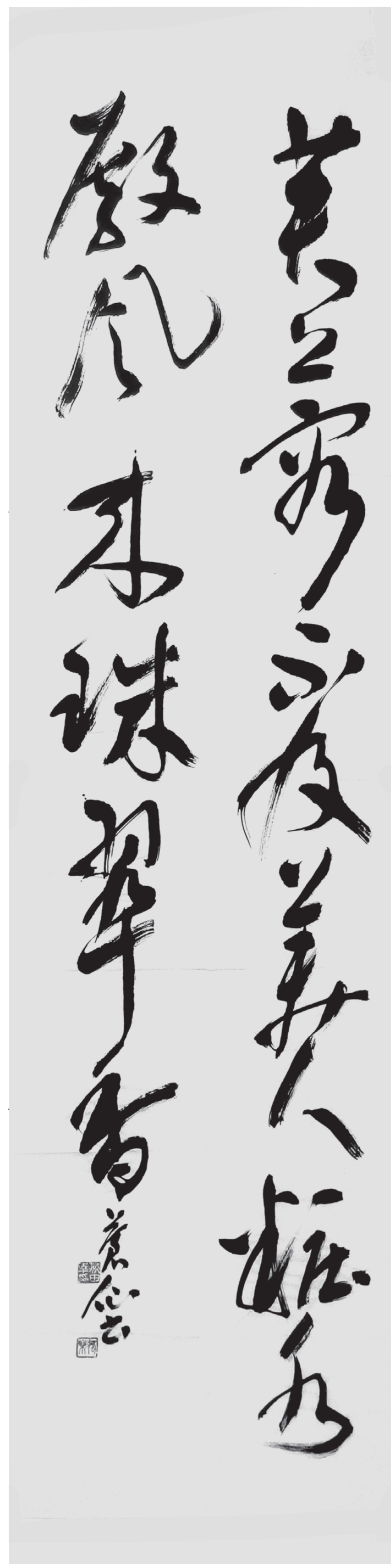
一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書 華 玲 田 樋



締切り 七月二十五日 (必着) 半切 (一二六cm × 三五cm)

荻 田 蒼 仙 書

- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績 (天位〜5等) は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

裏山に響き渡る蝉の鳴き声(せう)を聞き
初夏の到来を感じています 都会
生活も楽しいでしょうがたまには
実家で皆とのんびりしませんか

(ご自分の氏名)

〔条幅解説〕 臨書を重ね深めるにつれ、法則、原理そして感動を体得する…。私は未だ麓で呻吟。古典全体の雰囲気をつかんで部分を臨書します。誰の臨書かわからないようではいけません。

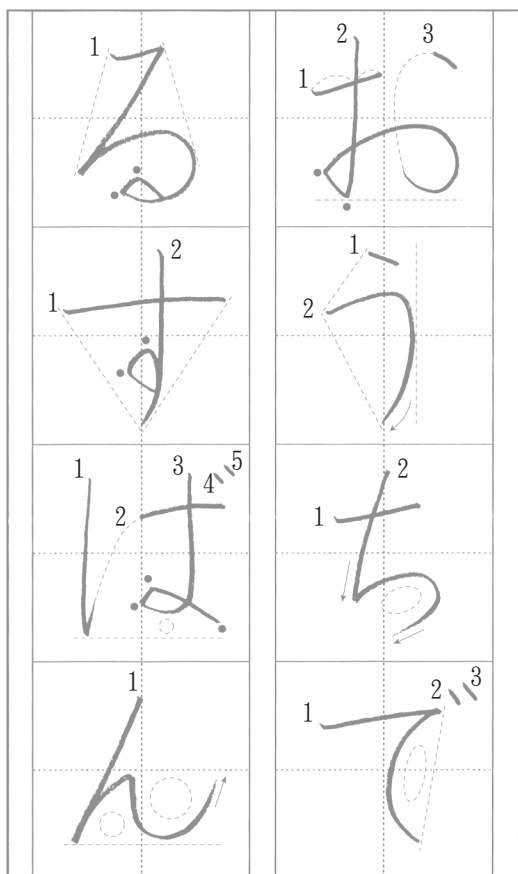
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〔大意〕 蓮の花も及ばぬほどの美しく粧った美人が池亭に佇み、そよ風が吹いてきて美女の首飾りをなぶり芳しい香りを放つ。

初出品の方へ

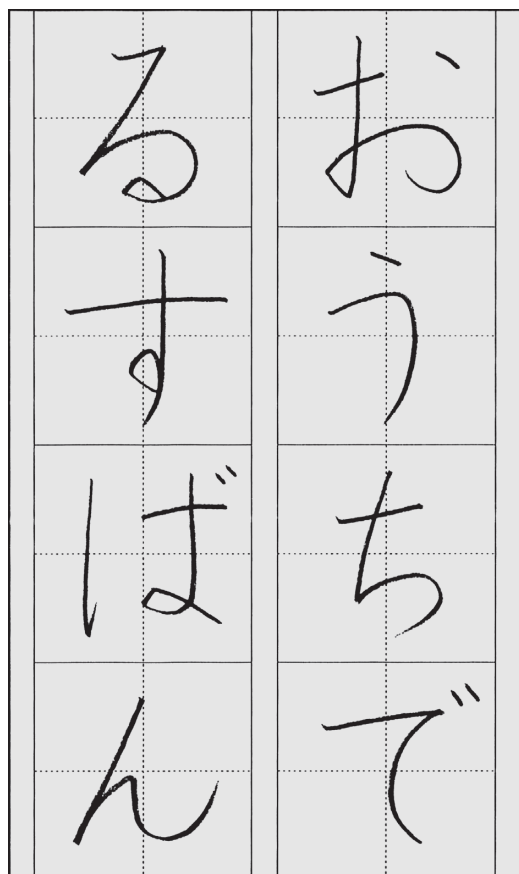
芙蓉ふよう不及おとよばず美人粧びじんのよそおい
水殿すいでん風かぜ来きた珠翠しゆすい香こうばし
王昌齡おうしょうれい

〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)



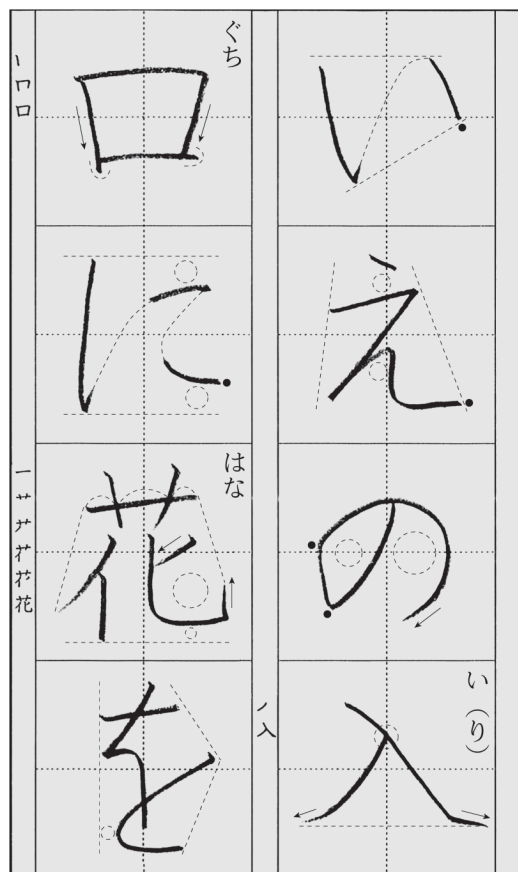
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



よ
う
年

幼年〜小三年まで
三宅容玉書



新入〜1級

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

お	水
よ	の
く	中
魚	を

みず
なか
さかな
イロオ水
イロロ中
ツル魚魚魚

新入1級

さ	よ	水
な	く	の
魚	青	中
た	い	を
ち	小	お

小二年

準初段以上

作	習
な	字
ら	の
ぶ	力

サク
シユウ
ジ
リキ
イイ竹作竹
イロ習習
イロ字字
フカ

新入1級

場	の	全
に	力	国
な	作	の
ら	が	習
ぶ	会	字

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用具〉自由(黒色に限る)

す	父 ちち
る	が
手 て	愛 あい
帳 ちヨウ	用 ヨウ

※父さん＝単語としてこのように読みます。

る	長	お
赤	年	父
い	愛	さ
手	用	ん
帳	す	が

小四年

準初段以上

新入～1級

小四年以上
岡嶋桂川書

想 ソウ	復 フツ
街 まち	興 コウ
造 つく(り)	支 シ・ささ(える)
進 すす(む)	理 リ

解説(よく見て習いましょう)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

造	で	復
り	理	興
進	想	支
め	の	え
る	街	ん

小五年

(全員)

〈用具 自由(黒色に限る)〉

一 尸 尸 尸 圧	アツ	1 2 3 4 5	ハッ
十 車 朝 朝 朝	あさ	タツ	
一 一 一 雨 雨	あめ	テイ	
フ 降 降 降 降	ふ(る)	キ	

解説(よく見て習いましょう)

ら	気	発
雨	圧	達
が	で	し
降	朝	た
る	か	低

小 六 年

(全員)

環	実	校
境	し	舎
が	た	に
整	学	は
う	習	充

中 二・三 年

(行書)

を	大	夜
仰	輪	空
ぎ	の	に
見	花	輝
た	火	く

中 一 年

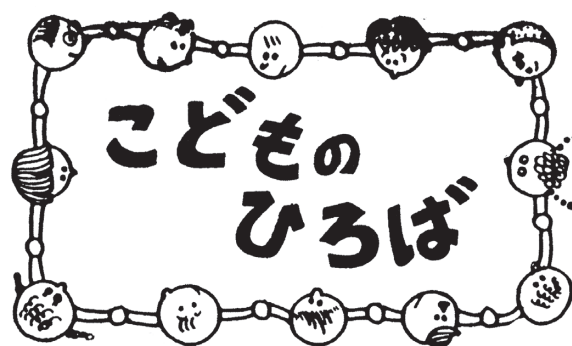
(行書)

▼小三年以下の課題 ささき しょう せん 書

体	入	空	広	教
調	れ	気	く	室
を	か	を	開	の
整	え		け	ま
え			て	ど
る				を



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 7月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題 なが たに けい こ 書

ジ	会	姉	池	休
ョ	話	と	の	日
ギ	し	二	周	の
ン	な	人	囲	朝
グ	が	で	を	は
	ら			



※二人＝単語としてこのように読みます。

◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



幼年／小二年

玉樹小華書





小三・小五年
水野香竹書

中二
学
習
環
境

小六・中二・三年

奥村暢之書

低
気
圧

小六

空
習
環
低
気
夜

※行書はリズムよく筆を運ぶことが大切です。

中
仰
夜
空
ぐ